



(参考様式4)

事業所名 グループホーム藤城の家

作成日: 令和 5 年 11 月 20 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	46	普段の生活において、ご利用者が力を発揮できるような支援をすることが不十分である。	家事やレクリエーションにご利用者が取り組むことの支援をする。	少しのことで、ケアプランにも上げているご利用者が家事をすることの支援やレクリエーションを充実させるように意識して取り組む。そのなかで、出来ることが少なく思える方についても何が出来るのか探り試行錯誤してみる。	6ヶ月
2	40	これまでのコロナ禍のなか感染防止に重きをおいて生活に制限を設け、外出などご利用者の希望を叶える支援が十分にはできていなかった。	徐々に制限が解除されていく今後、ご利用者の希望や要望を実現するための支援をしていく。ご本人の希望を実現する食事のレクリエーションや外出を企画・実施する。	食事について、ご本人の要望を聞き実現する。外出については要望を言葉にして表明されることは少ないが、話される言葉のなかから、もともとお住まいだった場所や思い出の場所について注意深く聴くことで思いを探り、外出の企画につなげる。	12ヶ月
3		サービス評価の個別票に沿ってご利用者の生活、サービスを振り返ることが不十分である。	定期的に個別票に沿ってご本人の暮らしを振り返る。	グループホーム会議やケアカンファレンスなどで議題に取り上げて、ひと月にお一人ずつ個別票に取り組み、ご本人の暮らしとサービスを振り返る。	12ヶ月
4	9	利用者に運営推進会議に参加していただけない。利用者の意見、要望を聞く機会をもうけられていない。	利用者にも運営推進会議に参加してもらい、意見を表せる機会をつくる。	ZOOMを使用して利用者に運営推進会議に参加してもらうようにする。職員が間に入り、他の会議参加者の質問を伝えるなどしてコミュニケーションの支援をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。



自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念にそってケアを行っている。理念に基づいたケアを職員全員が心にかけている。地域ボランティアさんとの関わりもコロナ禍の中でも出来る限り最大限に出来ていたと思う。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前に比べると減っているが、ボランティアの方々と地域の子ども達との交流は継続している。十分交流できていると思う。	今の方法でいい。児童館の子ども、藤城小学校の子どもについて、地域と共に考えてくれている。以前は下校時に声をかけてくれているお年寄りがいた。またしてもらったら。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活かされていると思われるが、会議内容については周知されていないと感じる。ご利用者が参加出来たら A の評価になると思う。	特に意見はない。 前は利用者も家族も参加してくれていた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議やその報告などで連絡をとっている。	レジュメも会議録もわかりやすく、情報共有が出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する研修を年2回定期的に実施し、実践につなげられている。身体拘束を行うことなく、出来る限り見守りで対応できていると思う。		A. 充分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できている
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている 4 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止についての研修を実施して、職員は日々意識を持ちながらケアを行っている。		A. 充分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	研修等で学んでいる。職員全員とは言えないが必要な支援はできていると思う。職員個々での研鑽以外に学ぶ機会は少ないと感じる。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている 4 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重要事項等の説明を行なっている。また重要事項説明書に記載の内容が変更された時にはその都度説明を行なっている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にご家族にアンケートを実施し、意見を頂けるよう機会を設けている。アンケート等で寄せられたご意見を運営に反映させている。		A. 十分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	職場環境改善委員会が開催されている他、年1回は個別のヒアリングが実施されていて、意見・提案を言いやすい環境である。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	マネージャーによるヒアリングは年1回実施されるが、年度途中でリーダーによる面談があっても良いかと感じる。個人的には管理者に気遣ってもらえていると感じる。		A. 十分にできている 5 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「あまりできていない」と回答した人は(他の項目も含めて)同じ人か。⇒職員名は無記名なので、わからない。 「あまりできていない」と回答できる環境の職場と理解できる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	第一課程、第二課程とキャリアに応じた内部研修が実施されている。本人希望だけでなくもう少し研修等の機会の提供があっても良いと思う。		A. 十分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修はネット環境で見れるようになっているか？ ⇒ZOOM等で参加できるPCが数台あり、コロナ禍でも受講できるようになっている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 2	コロナ禍が原因かもしれないが、ここ数年他法人の同業者との関わりはない。同法人以外でもそのような取り組みができれば良いと思う。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	地域で共に生活する同士だと考えている。一方で、介護度が高く介助量が多く必要な利用者に対しては難しく感じる部分もある。日々のケアの中では難しくても、催しなどでは一緒に楽しむことが出来ていると思う。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	レクリエーションやお誕生日企画などで実現できるように支援に努めている。	利用者や外部の人、家族など色々な人と接する機会があればと思う。 北堀公園やスポーツクラブの所まで行く事ができれば、多くの人と会えると思う。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	一人一人に合わせて対応出来ていると思う。思いや意向が汲み取れていないと感じている職員もいる。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスを開催して意見を出し合い、ケアに反映されている。カンファレンス等では十分に話し合えていると思うが、今後ご家族にも参加していただける場があれば良いと思う。	入所の時に本人について聞くか？ ⇒面接の時に本人家族から、前事業所のケアマネからの情報も得ている。	A. 充分にできている 5 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ているのであれば、入所した後もやりやすい。大事な事は事業所がどれだけ本人のために動いているか。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア記録に残し、毎日のミーティングで共有して実践につなげている。職員それぞれの気づきを皆で共有できるように努めていると思う。ただ、記録にはモレがあり、パソコンを譲り合って使わないと記録を入力できないことがある。		A. 充分にできている 5 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	もっとたくさんPCを置くことができないか。できないのであれば、クラウドで対応できれば。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後機能低下が見られた場合に対応が困難となるであろうケースは出てくると思われるが、現状では、日々変化のあるご利用者の状況に合わせて限界を設けずに相談して取り組んでいる。	すこやか学級でも性格が変わっていく方もいる。日々でも違うし、こちらの言葉かけでも違ってくる。その対応も大事である。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 1	ご自分で玄関まで新聞を取りに行かれることを支援したり、事務所や他部署の職員との会話も楽しめる環境を作っている。もう少し地域の催しや買い物等に外出できれば良いと思う。職員によっては個別の地域資源について知識が十分でなく、あまり参加できていないと感じている。	藤城学区のブランドを作っている動きが地域にある。ピジョンはコロナで止まったが、HPを立ち上げて施設のページも検討している。藤城学区には施設が数か所あり、取り組みをHPにあげていきたいと思っている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている 4 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人ご家族の希望で、居宅で生活されている頃からの主治医との関係を継続されている方もおられる。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この1年間は入院される方がなかった。		A. 十分にできている 5 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院がないというのはすごいことである。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時や、折あるごとにご家族に意向を確かめている。ご本人の状態が低下してこられた際には、ターミナルケアに入るタイミングやその前の段階から、経過や状態などをご家族に説明して連携できている。		A. 十分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できている
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている 1 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない	実際の急変ケースがそれほどなかったこともあり、急変時の対応は職員のスキルにバラつきがあり、訓練はあまり出来ていないと感じる。急変時にパニックにならないように、話し合いや訓練が必要と思う。もっとフィードバックする機会が必要だと考える。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている 6 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	年に3回訓練を行い、災害に備えて身につけている。訓練に職員全員が参加することは不可能なため、定期的に確認が必要と思うBCPの研修も実施している。	きちんとおこなえている。 地域がどれだけ関与できるか。 地域としても情報を発信する。	A. 十分にできている 6 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域も協力する。 次回は参加していただける方向で。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている 6 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	接遇の振り返りを行い、意識を持って対応している。介護(介助)する上での声掛けには各自が日々留意しながら業務に従事する必要があるが、言葉遣いや接し方にチーム全体でも注意していく必要がある。		A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親しみの感じられる言葉かけと、馴れ馴れしい言葉かけの違いを意識するのは難しいと思いますが、振り返り等の取り組みもされているとのこと。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている 5 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	ご本人の意向と、生活する上でのペース配分をよく考えた上でなるべく希望にそって支援できている。言葉にならない声を汲み取り一人一人のペースに合わせて支援を行なっている。 いつも座っている方が立たれた時フロアを出て行かれた時、今している作業を止めて見守りたい。「どこに行かれますか」と聞かず見守りたい。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	食事準備や片付けはあまり出来ていない。おしぼり干しは一緒にする機会が多い。IADLが低下気味で以前ほど共に行えない分、見ていただいたり食を感じるレクを心がけている。ご利用者の好みをお聞きして手作りやリクエストメニューをもっと実施したい。		A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メニューは予め決まっているが、日によってご利用者の希望を実現するように献立を立てられることもあり。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	情報共有しながらやり方を工夫してできている。一人一人の状態に合わせて対応出来ている。少しでも多く水分を摂って頂けるようにご利用者のタイミングに合わせて提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	毎食後は出来ていないが、起床時、就寝前には可能な限り口腔ケアを行なっている。自立の方の支援がなかなか出来ていなかった。今後も留意していく必要がある。		A. 充分にできている 0 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特になし。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている 4 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンに合わせて下着やパットを検討、工夫して対応できていると思う。トイレの声掛けや下剤の服用を減らすために食品で工夫して自然排便が起こるように取り組んでいる。		A. 充分にできている 7 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	下剤の使用など、ご本人から希望されることは難しい。職員が管理されている。バナナジュースや、ご家族が用意したヨーグルトなどを提供するなどの取り組みをされている。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない	身体状態に合わせて可能な限り対応している。入浴時間に関しては希望に合わせることは難しいと感じている。入浴が午前中になってしまっていて、その中では一人一人に合ったタイミングで行っていると。入りたいに合わせて入れない			

				だけではなく、入りたくないけど入っても らなければいけないこともある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疲れが見られた時などお部屋で 休んで休息してもらっている。 体調に合わせて臥床してもらい、 一日の生活をリズムを作 れている。消灯時間はそれぞ れの方に合わせられていると 思う。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量に ついて理解しており、服薬の支 援と症状の変化の確認に努 めている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の変更があった時等、ご本人 の様子を記録に残して情報共 有をしている。カンファレンス に薬剤師さんにも入っていただ くことでより解り易くなってい ると思う。	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	質問等、特になし。	
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分転 換等の支援をしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	個別のアセスメントの結果、 役割のある人もあるが、ない 人もいる。出来ている時と出 来ていない時がある。もう少し 日課の中にレクリエーションを 取り入れられれば良いと思 う。	役割をもつことも難しい。な くても大丈夫ということか？ →職員から声かけても断られ たり、ご自分のペースで過ご される方もいる。 一人ひとりのペースを大切に 出来ればよい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援 している	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出に制限があり、 希望される所に出掛けること はできていない。誕生日や行 事などの際には外出を企画し 実施できることもあった。 もう少し外出支援が出来れば 良いと思う。	現在でも制限があるのか？ → 現在も一部制限はある。誕生 日に外出の企画を立てたり すが、コロナ禍以前のように 気軽に外出できるわけではない。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 5	お金を自分で管理して持た れている方がなく、機会がない。 「お金出すし買ってきて」と いう希望を実現することが難 しいと感じる。買い物レクに 取り組みたいと思う。藤城の 家の中で、お菓子の販売があ り、購入してもらう機会はつ くった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら が電話をしたり、手紙のやり 取りができるように支援して いる	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	話を持っておられる方はご 家族と連絡がとれる様に支 援している。事業所の電話を 使っていただくこともあるが 日常的な支援とは言えず、 できている人とできていな い人がいる。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分で移動される方は共用スペースでお部屋に近い席に座っておられ、自由に出入りが行えている。自席ばかりでなく和室のソファなどを利用して気分転換を図っていただくようにしている。生活している空間を大事にした上で大人っぽい制作を心がけている。壁面で季節感を出して華美になりすぎず幼稚でもない落ち着いた雰囲気になるようにしている。もう少し掃除したい。		A. 充分にできている 4 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	座席は決まっているようであり、ご利用者の意思や気分に合わせて、自由に移動はできるとのこと。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	ご自分の思いを言葉にして表明できなくなられている方が多い。職員として想像力をはたらかせて意向を汲み取るように心がけている。ご利用者はきっと自宅や家族と共に生活したいというのが本心であると想像するが、安心して生活出来るように支援していきたい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない	情報をもとにケア・支援を行えていると思う。出来ている方もいれば、十分に出来ていない方もいると思う。ご家族には継続して情報を得るようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の健康観察、個別のアセスメントをもとにその都度対応している。職員間では常に共有、話し合いをして、可能な限りの対応ができていると思う。		A. 充分にできている 6 B. ほぼできている 2 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	質問等、特になし。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない	ADLの低下により、現在の暮らしがこれまでの暮らしの習慣とは異なっている部分もあると思う。以前と同様にすることは難しいと思うが、なるべくご本人のペースに合わせられたらと思う。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの写真や家具等を自室に置かれている。入居時にご自宅で使用されていた物を持参され、使用していただいている。希望や習慣に合わせ個別対応している。		A. 充分にできている 7 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	質問等、特になし。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 1 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない	コロナ禍で戸外に出掛ける事は制限がある為に希望どおりには出来ていない。施設内でのイベントには参加されている。日中の散歩や買い物の支援をしたいと思います。	近場の散歩など、環境を変えてあげることも必要かと思う。六地蔵のイズミヤは結構すいているので外出の候補としておすすめです。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	個別に出来る事を見つけ出し、行なってもらっている。もう少しそれぞれの方に寄り添いいろんな事を一緒にできれば良いと思う。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない	いきいきと会話を楽しまれている事はあるが、活動場面は少ない。職員との会話は多いが、ご利用者同士でお話していただける様に職員が間に入りお話ししていただけたらと思う。	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	質問等、特になし。	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている 1 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない	事業所内で他のご利用者(近隣)との交流はあるが、地域の方との交流は少ない。散歩等の外出により他者との交流が出来ていければ良いと思う。	コロナ禍の影響もまだあり、難しいと思う。日常生活の行事があれば一つずつ進んでいけるのではないかと。 藤城地域をなんとか楽しい地域にしたいと考えている。小学校のクラブハウスでやっているような、地域をくっつけるようなことを藤城の家でもできれば、もっと良くなっていくのではないかと。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不安の訴えをされる事もあるが、全体的には安心して暮らしておられると思う。	この場所は立地としてもとてもいいところ。藤城の家に入りたいたいという人はいっぱいいるのではないかと。それをうまく生かせればよい。	A. 充分にできている 5 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症により不安の訴えがある方もいると思うが、出来る範囲で取り組まれているのではないかと。生活している人は安心の環境で過ごされているのではないかと。